

# 慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」 キーワード「努力夢現」「挑戦と煌」



## 最後に、私が伝えたいこと

校長 高波 國夫

学校の紅梅も花を咲かせ、春の気配を感じられる季節となりました。今年度の登校日も3年生10日間、1・2年生18日間となりました。嬉しさと寂しさが入り混じるこの時期は、1年間を振り返り、次の学年へ心を整えていく大切な時間となります。

そこで、さわやか相談員と一緒に再確認した「生きていく上で大切な5つの力」について、心と生活のアンケートをもとに紹介いたします。

※心と生活のアンケート（年3回）実施の生徒アンケート。下の（数字）は、慈恩寺中の1月の肯定的な回答の数値です。

- **忙しいときに、友達に「手伝って」と言うことができます（92.9%）**  
一人では難しい時に「助けて」と言えることは、とても大切な力です。困ったときは遠慮せず、まわりに助けを求めていきましょう。
- **友達の頼みでも、嫌なときは「嫌です」と言えます（91.8%）**  
相手を傷つけずに断るのは簡単ではありませんが、自分の気持ちを大切にするために必要な行動です。今流行りのアサーションです。（ぜひ調べてみてください）
- **信頼できる友達や家族などがいます（100%）**  
認めてくれる人、支えてくれる人の存在は、安心して成長する力になります。その人への感謝を忘れず、そして、つながりを大切にしていきましょう。
- **自分のことが好きです（92.2%）**  
落ち込む日もありますが、それも自然なことです。自分を少しずつ肯定できる時間を増やしていきましょう。
- **クラスの友達から頼りにされていると思います（92.2%）**  
誰かに頼られる経験は、自信や成長につながります。必要とされたときには、人のために力になっていきましょう。



人生にはいろいろな出来事があります。心が「そう思う」ときも「そう思えない」ときもあって当然です。その揺れているときこそ、私たちが成長している証です。ゆっくりで構いません。「そう思える」日を、時間を少しずつ増やしていきましょう。

3年生との校長面接で「中学校で一番学んだことは？」と尋ねると、約9割の生徒が「人間関係です」と答えてくれました。勉強はもちろん大切ですが、誰かと支え合いながら成長していく経験こそ、学校で学べる大きな価値なのだと改めて感じました。

この1年、順調に進む日もあれば、思うようにいかない日もあったことと思います。それでも、困ったときに誰かに相談したり、話を聞いてもらったりすることで、心が軽くなることがあったのではないのでしょうか。一人で抱え込まず、仲間と助け合いながら歩いていってほしいと思います。

学校では、アンケートの全体数値だけを見て終わりにするのではなく、一人一人の思いを大切にしたいと考えています。特に「そう思わない」と感じた生徒には、その気持ちや背景に丁寧に寄り添いながら支え、成長を見守っていきたいと思います。保護者の皆様には、本年度も温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。卒業式、修了式まで残りわずかとなりましたが、引き続き見守りくださいますようお願い申し上げます。